

活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	地域部会（南総部会）		
タイトル	ほたる観賞会		
実施日時	平成29年6月3、10、17日（土） 19時00分～21時00分		
実施場所	君津市 清和県民の森		
受講者	12名、27名、3名	F I C会員他スタッフ	5名

活動の内容

清和県民の森の「ほたる観賞会」は、毎年6月に土曜日3週連続で行われるイベントです。今年は、例年よりも一週間早めて6月3日と10日にも行われ最終日として17日に行われたものです。

ほたるの活動が盛んな状況は、高温・多湿・無風で、更に月光がないのが最適といわれています。人間の不快指数が高くじっとりと不快な汗に悩むほど、ほたるにとっては快適であるようです。

今年は6月に入ってから夜は涼しくカラッとしていて晴天の日が多く、初日の3日は、更に雲もなく月光が強く明るかったのでほたるの飛翔は少なかったが、じっくり鑑賞することができました。受講者は12名でスタッフは5名で実施しました。

2回目の10日は、かなり飛翔は見られた。受講者は、27名でスタッフは7名でした。

最終日の17日は、月光はなく最適に近い状況でしたが、受講者が急なキャンセルが続き3名となり、スタッフは5名で実施しました。ただ、出発会場のロッジ村利用者の飛び入り参加者10名位が同行しました。

「ほたるの里」では、多数のほたるの飛翔が見られ、特に「ゲンジボタル」の光の点滅が同時に行われる光の同調（シンクロ）やほたるの乱舞が見られ、素晴らしい光の競演でした。また、田んぼの山側では「ハイケボタル」も、かなり飛翔が見られました。受講者も大変満足していました。

ほたるの活動、特に飛翔は、気象状況が密接に影響することが分かりました。

下の写真は、清和県民の森「ロッジ村」での「ほたる鑑賞会」の開会の状況

